ITソリューション塾・事前課題／第3回

ビジネスの新しい基盤・IoT（モノのインターネット）

IoTはモノとヒトとの関係にパラダイムシフト（常識の大転換）をもたらそうとしています。パラダイムが変わればビジネスも変わります。次回の講義ではIoTが生みだす新たな可能性とこれからのビジネスについて考えてゆきます。

それでは、次の質問に回答して下さい。

1. 「IoT / Internet of Things / モノのインターネット」でつなぐこと、あるいは、つながることが社会やビジネスを大きく変えるとも言われています。では、何がどのように変わるのでしょうか。これまでできなかった何ができるようになるのでしょうか。事例を挙げて説明してください。
2. 今後の流通ビジネスの事業戦略上のポイントは、消費者起点で物事を捉えること、即ちサプライチェーンからディマンドチェーンに業態を作り替えていくことです。そのためには消費者を理解する「データ」が、これからのビジネスの成否を分かちます。ここで言う「データ」とは、POSや販売データだけではなく、主義主張、趣味嗜好、人生観や悩み、ライフログ、生活圏などを含めて消費者を深く知るためのデータです。各社は、様々な方法／サービスを駆使することで、このデータ収集に躍起になっています。では、彼らはどのような方法／サービスによってデータを手に入れようとしているのでしょうか。既に解説したこともありますが、改めて自分の言葉で整理して説明して下さい。
3. 「モノのサービス化」という言葉があります。モノをインターネットにつなぎ何らかのサービスを提供する、あるいは、ネットにつながったモノを販売するのではなくサービスとして提供することを意味しています。このような「モノのサービス化」は、モノを販売するビジネスと何が違うのでしょうか。もちろん収益のあげ方が違うのは当然のことですが、これまでに出来なかったことができるようになるといった、ビジネスの新しい価値や可能性という観点から、文章にまとめてください。

以上